

学校だより



# 平安

3月号

あったかハートで Hey!安心!!

## 三本の矢

学校長 中村 浩子

戦国武将の毛利元就が3人の息子に対して、1本の矢は容易に折れるが、3本まとめると折れにくいことから一族の結束の大切さを説いたという故事があります。これを平安小学校に置き換えると、3本の矢の1本が家庭、1本が学校、そしてもう1本が地域になるかと思えます。

さて、学校づくりアンケートで保護者の皆様からたくさんのご意見をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。このご意見の中にもある、子どもたちのあいさつの様子や登校班のあり方については、平安小学校後援会でも話題となりました。

○平安小学校は初期の頃から登校班で登校をしていた。最初は、保護者の付き添いはなかった。しかし、ある日の登校途中で、忘れ物に気づき家に戻った児童が交通事故に遭ってしまった。そこで、このような事故がないように、保護者が付き添うようにしようと立ち上がった。それが、今の旗当番につながっている。

○登校班の集合場所では、必ず旗当番の方にあいさつをしていました。そこで、あいさつの習慣が身に付いた子もいました。登校班がなくなると、あいさつができるようにする場を奪うことになるかもしれません。

毎日、旗当番の保護者の皆様には大変感謝しております。横断歩道などを安全に渡れるように声かけをしたり、登校途中で転んだ子どもの対応をしたりと、いつも本当にありがとうございます。時代が少しずつかわり、現在は共働きで朝早くから仕事をされる保護者の方が多くなり、旗当番の仕事が難しくなっている方が増えているのも事実かと思えます。登校班のあり方については、学校と家庭だけではなく、地域の皆様とも協議をしていく必要があります。すぐに解決できることではありませんが、現行通りがすべて良いこととは思いませんので、時間をかけてPTA等とも話し合いを重ねて、進めていきたいと思っておりますので、どうぞご理解いただければと思います。

また、下校時に、雨の日も寒い日も、いつも交差点や歩道橋下に立ってくださっている見守り隊の皆様が、横浜市学校保健会より、「令和5年度横浜市交通安全協力団体」として、1月18日に南公会堂で教育長より表彰を受けました。この表彰は、地域の皆様が20年にわたり、子どもたちを見守ってくださったからです。平安小学校の子どもたちは、朝は保護者に、帰りは地域の方に見守られて安全に過ごしているのだと思います。

あいさつや子どもの安全については、家庭だけでも、学校だけでも、地域だけでもできません。3本の矢のように皆さんと一緒に、平安小学校の子どもたちを育てていければと思います。令和5年度もあと少しで終わろうとしています。今年度も、保護者の皆様にも、地域の方々にもさまざまなご協力いただきありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

## 感謝状

平安小学校 見守り隊 様

貴団体は本市児童生徒の交通安全を推進され多大な貢献をされました。ここに深く感謝の意を表します。

令和6年1月18日

横浜市教育委員会教育長

鯉 潤 信也

横浜市学校保健会会長

戸 塚 武和